

屋久島産ホシハナノミ属の未記録種について

高桑 正敏*・畑山 武一郎**

鹿児島県屋久島におけるハナノミ科ホシハナノミ属としては、キボシハナノミ・オオキボシハナノミ・コモンホシハナノミの3種が報告されているが、筆者らは次の屋久島産3種を新たに記録しておく。

1. シラホシハナノミ

Hoshihananomia perlata SULZER

- 1♂, 永田, 20. vii. 1966, Sugiyama 採集
- 1♀, 小杉谷, 16~18. vii. 1968, 酒井香採集
- 1♀, 小杉谷, 20. vii. 1968, 畑山武一郎採集

屋久島産は上記1♂2♀しか検していないので明らかとは言えないが、北海道・本州・四国産と比較すると、♂♀ともに尾節板の形状を異にし、また♂ゲニタリアにも違いが認められる。

2. ウスキボシハナノミ

H. kurosai CHUJO et NAKANE

- 1♂, 宮之浦林道, 23. vii. 1971, 畑山武一郎採集
- 1♀, 宮之浦林道, 6. vii. 1972, 長尾悟採集(写真)

上記♂はオオキボシハナノミ♂の黒化個体にきわめて似るが、上翅基部の会合線に黄色毛を持たないことと、尾節板がよりとがることで区別できる。またこの♂は上翅肩部側方寄りに黄褐色の痕跡的なやや丸い紋を持つ。上記♀は本州産ととくに差は見い出せない。

3. ニセキボシハナノミ

H. katoi NAKANE et NOMURA

- 1♂, 宮之浦林道, 18. vii. 1969, 畑山武一郎採集
- 1♂, 宮之浦林道, 14. vii. 1971, 小宮次郎採集
- 1♀, 坪切山, 20. vii. 1970, 入江平吉採集(写真)



左：ウスキボシハナノミ♀
右：ニセキボシハナノミ♀

4♂♂4♀♀, 宮之浦林道, 20~22. vii. 1971, 畑山武一郎採集

畑山の4♂♂4♀♀はウスキボシハナノミ1♂とともに樹種不明の白色花上より得た。

末筆ながら上記の標本を懇与され、発表を快諾された各氏に感謝申し上げます。

* (〒236 横浜市金沢区六浦町3577)

** (〒606 京都市左京区高野竹屋町37 宮川方)

北海道苫小牧における

エゾアオタマムシの採集例

秋山 黄洋



エゾアオタマムシ *Eurythyrea eoa* SEMENOW はアオタマムシ *E. tenuistriata* LEWIS に似るが、北海道のみに産し、後者の上翅端が二歯状突起となるのに対して、エゾアオタマムシは一歯で終わるので容易に区別できる。

少々古い採集例ではあるがほとんど記録されていないために、採集者の清水昭平氏の許可を得て発表する。

1 ex., 苫小牧市水源地, 20. vii. 1961, 清水昭平採集

上：全体写真
下：上翅端拡大写真
同氏の話によると、草むらの上に止まっていたそうである。なお標本は筆者が保管している。

(〒235-02 横浜市磯子区坂下町1-43)

マダラクワガタの採集例と食樹に関する一知見

藤田 宏

マダラクワガタ *Acsalus asiaticus* LEWIS は本州では中山帯に見られ、日本全土に分布するが個体数の少ない種とされている(朽木中からはまとまって採集されることもある)。

本種の採集例と、食樹に関しての一知見を知り得たのでここに報告する。

1 ex., 東京都下奥多摩川乗谷, 9. vi. 1968, 郷遠採集そだのピーティングによる。

1 ex., 静岡県伊豆遠笠山, 12. iv. 1969材採集, 4. iv. 1971羽化脱出(東京都内), 宮原道則採集。

タンナサワフタギの枯木より羽化脱出したとのこと。

菅見(1971, 高縄半島のマダラクワガタ, *Ishizuchi* 2 (1)) による愛媛県下の記録ではサクラおよびカエデ・ミ

ズキと思われる朽木中などより採集されているが、おそらく広葉樹の朽木であればかなりの雑食性を示すものであろう。大沢昭夫氏もやはり遠笠山のタンナサワフタギより本種を1 ex. 羽化脱出させている。

末筆ながら、標本を恵与され、発表を許された郷遠・宮原道則両氏に感謝する。

(〒110 台東区台東2-29-6)

四国におけるマメクワガタの記録

小笠原 隆



マメクワガタ *Figulus punctatus* WATERHOUSE の分布は伊豆諸島御蔵島および九州以南とされ、四国における記録はまだないようなのでここに報告しておく。

1 ex., 高知県足摺岬, 12. vii. 1969, 中山絃一採集保管

1 ex., 高知県長岡郡大豊町穴内, 9. vi. 1973, 小笠原隆採集, 藤田宏保管(写真)

足摺岬のものは朽木上にて。

また穴内のはチップ工場の貯木場の材上より得られた。

なお、貴重なデータを提供して下さった中山絃一氏に感謝する。

(〒780 高知市西秦泉寺420-19)

四国のカミキリ5種

小笠原 隆*・松村 英一**

筆者らは1972年、四国において興味深いと思われる次の5種のカミキリを採集したので報告する。

1. トゲウスバカミキリ

Megopis nipponica MATSUSHITA

1♂, 高知県長岡郡本山, 4. viii. 1972, 小笠原保管
市内の小学生より。林の中の樹上で採集とのこと。

2. ヒゲジロホソコバネカミキリ

Necydalis odai HAYASHI

1♂, 徳島県剣山, 30. vii. 1972, 松村英一採集
夫婦池付近の枯枝のピーティングで得られた。

3. トガリバホソコバネカミキリ

Necydalis formosana KANO

3♂♂ 1♀, 高知県土佐郡土佐山村工石山,
2. vii. 1972, 小笠原隆・松村英一採集

これらはすべて、1本のハイノキ(サワフタギ科)の立枯れより得られたが、本州・九州においては、タンナ

サワフタギ・サワフタギの立枯れより得られ、また羽化脱出している。ハイノキはおもしろい記録と思われ、新食樹となる可能性も十分に考えられるので、今後も調査を続行する。

4. カエデヒゲナガコバネカミキリ

Molorchus ishiharai OHBAYASHI

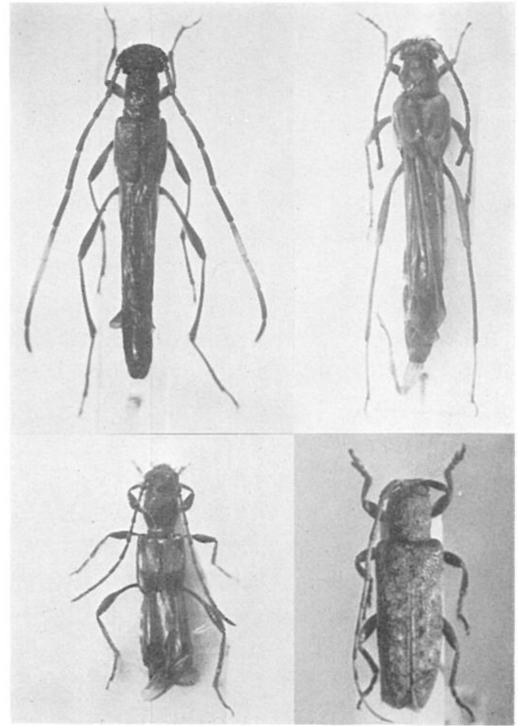
1♀, 高知県梶ヶ森, 30. iv. 1972, 小笠原隆採集

カエデの花上より得られたが、四国ではかなり稀な種と思われる。

5. ヒトオビチビカミキリ

Sybra unifasciata FUJIMURA

1♀, 高知県工石山, 17. vii. 1972, 小笠原隆採集
枯づるのピーティングで得られた。



左上: ヒゲジロホソコバネカミキリ♂
右上: トガリバホソコバネカミキリ♀
左下: カエデヒゲナガコバネカミキリ♀
右下: ヒトオビチビカミキリ♀

以上5種のカミキリムシにつき同定・御教示下さった中山絃一氏、また発表を勧めて下さった藤田宏氏に感謝したい。

* (〒780 高知市西秦泉寺420-19)

** (〒780 高知市和泉町10-29)